

Entrepreneurs Network

若き起業家の肖像

「和僑会」の精銳たち



「華南ワークス」社長 松本博明

第2回その1

組織と人材を結びつける橋渡しになるために

Homepage : www.wa-kyo.com e-mail : jinsukyoku@wa-kyo.com

トだつたこともあり、一人ひとりゼミを去つていく。そんな仲間の姿を目の当たりにして、自分のリーダーシップの弱さを責め、リーダーシップ論や組織論の本もむさぼるように読んだり、ゼミの恩師にも泣きながら相談したりもしました。そもそも私がゼミでリーダーとなつたのは、同じ志を持つ仲間とゼミという組織が互いにWin-Winの関係になるために、その橋渡し役になりたいという思いからでした。それが就職活動を始めたところには組織と個人を橋渡しする職業に就きたいと思うようになり、人材総合サービス会社「パソナ」に入りました。

その頃から、人材ビジネスのプロになりたい、海外を舞台に人材の橋渡し役になりたいと思うようになつていきました。そこには自分を奮い立たせるパワーにつながったのだと思います。この経験は、起業後も自分の血肉になつています。

こうした逆境が自分を奮い立たせるパワーにつながったのだと思います。この経験は、起業後も自分の血肉になつています。

03年3月、来港早々にSARSが蔓延し、マスクをして飛び込み営業の毎日。決意できたのだと思います(笑)。

香港生活も2年目を迎えたころ、起業間もない日本人女性と知り合いました。彼女はいつもハツラツとしていて、彼女からはいつもパワーを貰っていました。

その彼女と、和僑会の前身となる会を結成しました。その後はメンバーも増えていき、兄貴のような先輩起業家や、メンバーが「師匠」と慕うメンターも加わり、和僑会が誕生したのでした。

和僑会は起業後のうまみや苦味などを、時間があつという間に過ぎました。その頃から、自分の頭の中にも「起業」の二文字がいつもチラつくようになつてきました。(つづく)

★和僑という志高い仲間との出会い

みなさん、はじめまして。私は香港和僑会事務局の松本博明です。私は05年に香港で「Career Integration Asia Co.,Ltd.」を香港で設立し、現在は華南エリ亞の日本人技術者に特化した人材紹介サービス「華南ワークス」を展開しています。まずは私から、自分の起業について書いていきたいと思います。

★ゼミで学んだ組織マネジメントの苦労

大学3年生のときに入つた「経営戦略の研究」をメインテーマとしたゼミで、ゼミ長を2年間務めていました。このゼミでは主要産業・企業のマーケットシェア動向調査に関するプロジェクトを取り組み、連日連夜国会図書館等に通い、ゼミ活動に明け暮れていました。



パソナでの最後の出勤日(写真左)

★現地採用＝起業準備期間だつた3年間

その後香港に渡り、現地採用で就職した人材会社は、社長と私の2人のみ。一から十まですべて自分でやらねばならないという環境でした。しかし、この環境がその後、起業するうえで大変役に立つたと思います。

入社時の給料はパソナ時代の半分くらい。しかし、給与よりも海外で人材ビジネスで学ぶ経験が、自分の起業への道筋になつたと思います。

【和僑会】からお知らせ

次回は10月19日(金)開催予定

【講師】リースキン香港社長・常盤ゆかり氏

テーマ「香港ビジネス成功の秘訣」(仮題)

【1次会】19～21時 【2次会】21～23時(常盤氏を開んで約30名の参加者との交流会)(日

本料理屋予定) 1・2次会会費 500HKD